

業況レポート

情報連絡員報告

平成21年9月期

製造業

- ◇味噌…秋冬の需要期を控え各地の産業祭の開催に合わせ、地元の味噌のPRに努めている。
- ◇納豆…1社が破綻したが、その他各社も売上減少に歯止めがかからない状況で廃業を考えている会社も相当あると思われる。
- ◇菓子…彼岸の中日を挟んだ五連休があり、和菓子類や観光地での土産品の売れ行きが良かった。
- ◇パン…世の中が全体的に不調で当業界も苦慮している。
- ◇酒…8月の県内全体の課税移出数量は前年同月比99.5%とやや前年を下回った。業務用酒類が特に冷え込んでいる。
- ◇繊維製品…最悪の状態に入り、廃業・倒産が増えてきた。
- ◇繊維製品(袋物)…悪い状況の中で安定してきた感がある。雇用人員調整や最低限の仕事量確保で何とかしのいでいる。
- ◇木材…木材・建材等の住宅資材関連製品の荷動きは一般的に鈍く手持ち仕事量も少なく先行きも厳しい。大工・工務店をはじめ地域ビルダーも苦戦を強めている。
- ◇プレカット…加工坪数は前年同月比10%増。しかし、回収面での遅れが多くなり資金繰りが悪化してきた。
- ◇段ボール…組合員から売上が回復したという報告はない。9月も連休があり売上は良くない状況。一部の会社で動き出してきた部分はあるが、まだまだ先が見えない状況。
- ◇陶磁器…9月下旬に「笠間火器展」を開催。耐熱食器をテーマに様々な器を製作し展示・販売した。初めてにしてはまずまずの成果が得られた。
- ◇鍍金…前月よりも受注量が若干増えた。売上についてはシルバーウィークによる連休の影響もあり前年比6~7割の水準。業界の景気状況はL字型の回復傾向で低調。
- ◇電化機器…当月の生産高は716百万円、対前年比128百万円減。自動車関連で135百万円減に対し、家電関連は7百万円増。前月比では約108百万円の増。
- ◇工業団地(農機部品)…7組合員の売上状況は前年同月比全社でマイナス。全体では前年比61%。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメント出荷袋数は前年同月比約11%の減少。昨年8月以来13ヶ月連続減少が続いている。
- ◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比1.7%の減。消費不振により厳しい状況が続いている。
- ◇県西地区卸売業…大手スーパーの競争の中で、厳しい状況にある。スーパーの統廃合による影響が、売上への大きな足かせとなっており、消費者の買い控えも目立つ。
- ◇県南地区共同店舗…売上高の減少幅は若干回復したが、総体的に減少が続いており資金繰りが悪化する店舗

- が増えている。特に衣料品部門の下げ幅が気に掛かる。
- ◇県北地区共同店舗…シルバーウィーク期間のセール効果で昨対売上をクリアする店舗が目立った。
- ◇家電…エコポイントが薄型テレビ・冷蔵庫の買い替え需要に大きな影響をもたらすも、冷夏によりエアコンの動きが良くなかった。前年同月比ややダウン。
- ◇書籍…引き続き売上は減少、組合員の廃業に歯止めがかからない深刻な状態が続いている。
- ◇石油…ガソリン販売価格は前年同月比で45円値下り(前月比3円値上り)も、需要は減少し販売競争の激化から仕入価格の値上がり分を完全に転嫁できない状況にある。
- ◇中古自動車…10年に一回の記念オークションがあり月単位では収益に貢献したが、残りのオークションについては依然出品台数が減少している。
- ◇ホテル・旅館…売上低迷で景気は良くない。
- ◇自動車整備…県全体の検査台数(指定整備は除く)は、普通車6.9%、軽自動車1.4%とそれぞれ大幅に落ち込み、両車併せての業務量は対前年比5.1%の減少となった。
- ◇総合建設…国・県において土木工事の前倒し発注が活発化し数件受注に繋がった。市町村の発注は引き続き鈍い状況が続いている。建築工事、民間工事は低調で推移。
- ◇交通安全施設業…補正予算削減による影響が気になる。
- ◇管工事…県南地区で一部好転が見られるものの一時的なもの判断される。他の地区は全てに不変、又は減少・悪化が続いている。
- ◇県北地区運輸…主要顧客の出荷物量は1年前の水準には戻っていない。売上高の減少と燃料価格の値上がりにより収益を圧迫している。
- ◇県央地区軽貨物…経済不況から景気の悪化が続き、当業界も悲鳴を上げている。ガソリンの節約・高速道路利用自粛等、経費削減に努力しているが厳しい状況にある。

H21.9月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品製造		▲ 50.0		▲ 66.7	
その他製造		▲ 55.0		▲ 70.0	
卸売業		▲ 75.0		▲ 25.0	
小売業(商店街を含む)		▲ 63.6		▲ 63.6	
サービス業		▲ 50.0		▲ 50.0	
建設業		▲ 20.0		▲ 20.0	
運輸業		▲ 100.0		▲ 100.0	
全体		▲ 56.0		▲ 60.0	

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(DI値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はDI値